

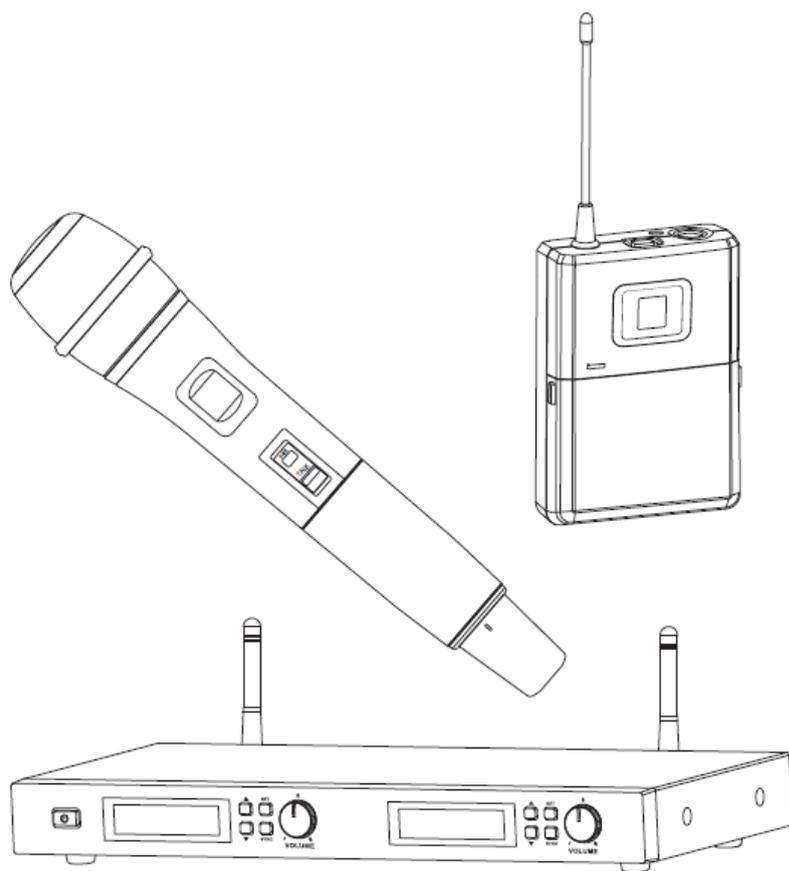


Classic Pro

CWS800 ワイヤレス・マイク・システム

ユーザーマニュアル

V1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

はじめに.....	3
使用上の注意.....	3
製品仕様.....	4
レシーバー.....	4
ハンドヘルド/ボディパック・トランスミッター.....	5
各部の名称.....	6
接続.....	10
レシーバーのチャンネル設定.....	11
ハンドヘルド・マイク/ボディパック・トランスミッターのセットアップ.....	13
操作手順.....	14
設置.....	17
故障かなと思ったら.....	18

はじめに

この度は CLASSIC PRO ワイヤレス・マイク・システム CWS800 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品の性能を最大限に活用し、末永くお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

使用上の注意

- この取扱説明書にしたがって操作してください。
- 商品は水に大変弱いいため、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
- 直射日光下やアンプ、ラジエーターの近くなど高温になりやすい場所、塵、埃の多い場所、過度に湿度の高い場所、振動の多い場所での保管、使用は避けてください。
- 異常な音、またはにおいが発生した場合には電源を切り、販売店または正規代理店までお問い合わせください。
- 液漏れによる故障を避けるため、長期間使用されない場合は電池を抜いて保管してください。
- 使用後の電池を破棄する際は地域の環境規則に従ってください。
- 修理が必要なときには、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

電波法について

※注意

トランスミッターやアンテナの改造、及び法律に基づく表示を改変、削除しないでください。

国内で販売されているトランスミッターは国内専用ですので、電波法の異なる海外では使用できません。

本製品は、新スプリアス規格に適合しています。

製品仕様

レシーバー

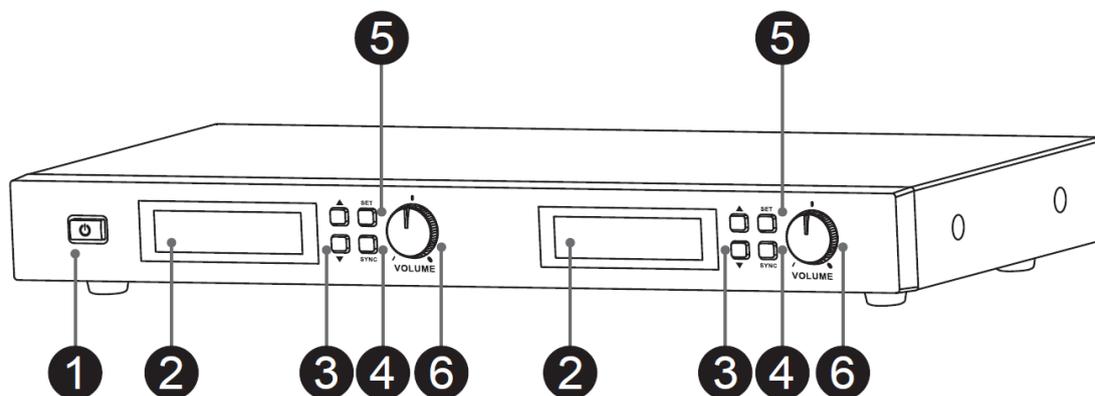
- 受信周波数 : UHF806.125～809.750MHz
- ケース:19インチEIA標準ラックマウント対応(金属筐体)
- 発信方式:PLL周波数シンセサイザー方式
- S/N比:>100dB
- スプリアス・レスポンス:70dB(最小値)
- 受信感度:52dB
- AF反応:80Hz～18kHz
- T.H.D:<1%(at1kHz)
- ダイナミックレンジ:>100dB
- トーン信号:32.768kHz
- オーディオ出力:バランスXLR、アンバランス・フォン
- 電源:DC12V
- 消費電流:520±10mA
- 寸法 :400x42x183mm
- 質量 :1740g

ハンドヘルド/ボディパック・トランスミッター

- 送信周波数 : UHF806.125~809.750MHz
- チャンネル設定 : SYNC
- ディスプレイ: LCDディスプレイにチャンネル、バッテリーレベルを表示
- RF出力: 10mW(最大)
- 周波数安定性: $\pm 0.005\%$
- ゲイン: 0dB、-10dB、-20dB
- マイク:
ハンドヘルド: 単一指向性ダイナミック/コンデンサーマイク
ボディパック: 小型マイク/ヘッドセットマイク
- 電池:
 1. DC2.4V(1.2V 充電式単3電池x2)
 2. DC3V(1.5V単3電池x2)
- 消費電流: 120mA \pm 10mA
- 寸法 :
ハンドヘルド: 260x54 ϕ
ボディパック: 65x97x25mm
- 質量 :
ハンドヘルド: 234g
ボディパック: 86g

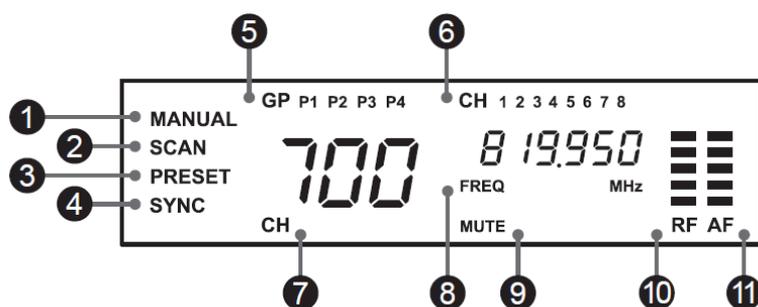
各部の名称

レシーバー前面パネル



1. 電源スイッチ
2. LCDディスプレイ
3. チャンネル設定ボタン
4. SYNC:トランスミッターとの同期
5. SET:マニュアル/オート/プリセット切替
6. ボリューム:レシーバー出力レベル調整

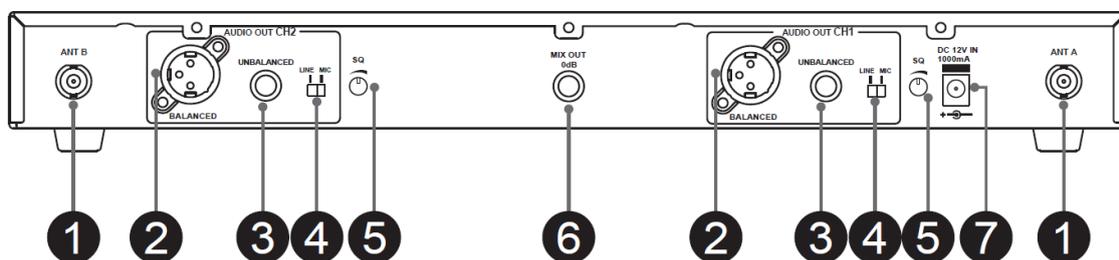
LCDディスプレイ



- 1 MANUAL: マニュアルでチャンネルを選択
- 2 SCAN: オートスキャンによりチャンネルを選択
- 3 PRESET: プリセットグループからチャンネルを選択
- 4 SYNC: 同期開始

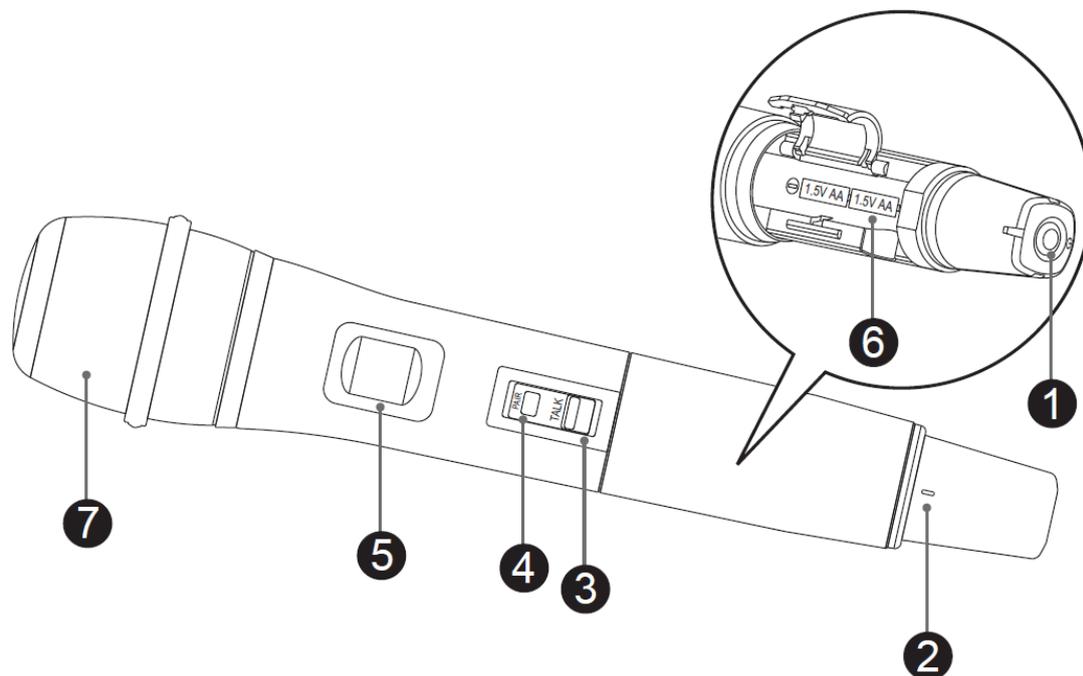
- 5 GP: 選択したプリセットグループを表示
- 6 CH: 選択したプリセットチャンネルを表示
- 7 CH: 選択したチャンネル番号を表示
- 8 FREQ: 選択した周波数を表示
- 9 MUTE: 出力をミュート
- 10 RFバー: RF信号レベルを表示
- 11 AFバー: AF信号レベルを表示

レシーバー背面パネル



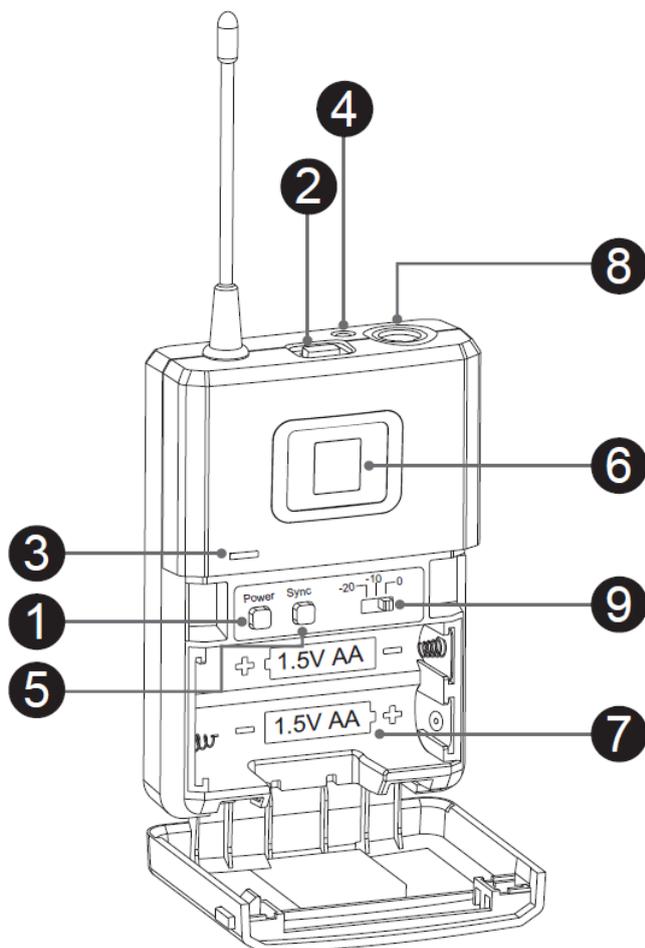
- 1 アンテナ入力コネクタ
- 2 バランスXLR端子
- 3 アンバランス・フォン端子
- 4 MIC/LINE: 出力レベル切替。MIC(-20dB)/LINE(0dB)
- 5 スケルチ: ノイズレベルを調整/減少
- 6 MIX OUT: チャンネル1・2のミックス出力
- 7 電源アダプター入力端子

ハンドヘルド・マイク



1. 電源: 2秒以上長押しすることにより電源をON/OFF
2. 電源LED: 電源/バッテリーレベルを表示
緑点灯: 使用可能
緑点滅: 同期中
赤点滅: バッテリー低下(残り使用可能時間10分)
3. TALK: (ミュートスイッチ)
上: トーク
下: ミュート
4. SYNC: 同期を開始
5. LCDディスプレイ: チャンネル番号・バッテリーレベル表示
6. バッテリーホルダー
7. グリル

ボディパック・トランスミッター

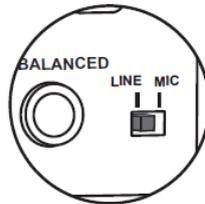
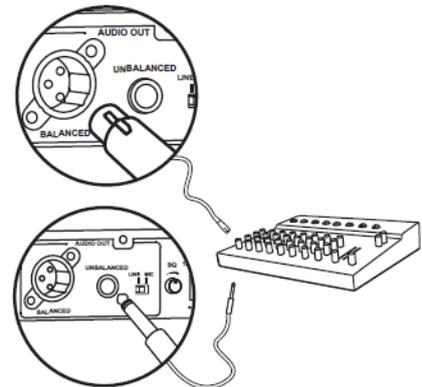
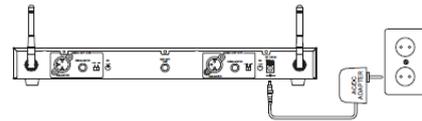


1. 電源:2秒以上長押しすることにより電源をON/OFF
2. ミュート・ボタン:ミュートON/OFFの切替
3. 電源LED:電源/バッテリーレベルを表示
緑点灯:使用可能
緑点滅:同期中
赤点滅:バッテリー低下(残り使用可能時間約10分)
4. ミュートLED:ミュートONのとき点灯
5. SYNC:同期を開始
6. LCDディスプレイ:チャンネル番号・バッテリーレベル表示
7. バッテリーホルダー
8. MiniXLR端子:小型マイクやヘッドセットマイクを接続
9. ゲイン切替(-20dB、-10dB、0dB)

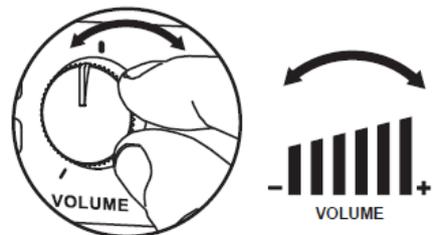
接続

トランスミッターとレシーバーが同じ周波数/チャンネルにチューニングされていることを確認してください。2台以上のトランスミッターに同じ周波数/チャンネルを設定して同時に使用することはできません。

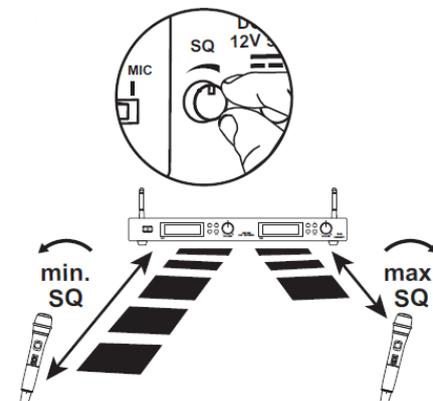
1. 付属の電源アダプターを本製品の背面パネルとコンセントに接続します。レシーバーの電源がONになり、LCDディスプレイ画面が点灯します。
2. バランスXLRケーブルまたはアンバランス・フォンケーブルを使用して、ミキサーやアンプに接続します。バランスXLRケーブルとアンバランス・フォンケーブルを混ぜて使用すると、シグナルロスが起きたりノイズが増幅される場合があります。
3. 出力レベルの選択をします。(MIC/LINE)
MIC: -20dB
LINE: 0dB(初期設定)



4. VOLUMEつまみによりAFレベルを調整します。初期設定は最小値になっています。
5. トランスミッターからの信号が弱くノイズが多い場合、SQ(スケルチ)つまみを回してノイズをカットします。SQつまみを時計回りに回すと、バックグラウンド・ノイズをカットすることができます。SQつまみを左いっぱいに戻すと、ノイズカットが働かなくなり、ノイズが入りやすくなります。



※初期設定は最小値になっています。



レシーバーのチャンネル設定

レシーバーのチャンネル設定を行うとき、使用できるトランスミッターは1台のみです。また、レシーバーとトランスミッターの距離は1m以上離してご使用ください。

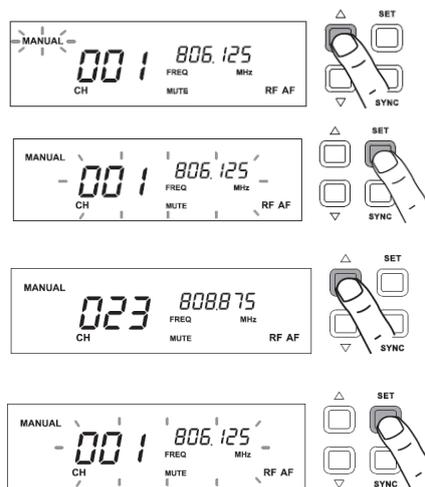
マニュアルモード

「△」ボタンを押してマニュアルモードを選択します。

「SET」ボタンを2秒以上押すと、LCDディスプレイの数値が点滅します。

「△」ボタンを押してチャンネルを選択します。

「SET」ボタンを押してチャンネルを確定します。



オートスキャンモード

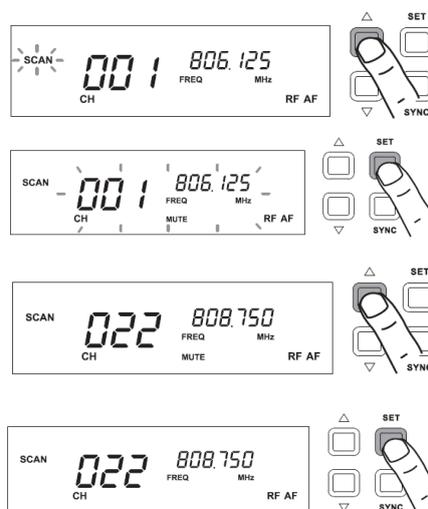
「△」ボタンを押してスキャンモードを選択します。

「SET」ボタンを2秒以上押すと、LCDディスプレイの数値が点滅します。

「△」ボタンを押してスキャンを開始します。使用できるチャンネルの所で停止します。

「SET」ボタンを押してチャンネルを確定します。

※続けて次のレシーバーを設定するときは、設定の終わったレシーバーの電源を切ってから行ってください。



プリセットモード

8チャンネルの中からチャンネルを選択してプリセットグループを作ります。全部で4つのプリセットグループを作ることができます。

※以下は一例になります。

「△」ボタンを押してプリセットモードを選択します。



「SET」ボタンを2秒以上押すと、LCDディスプレイの数値が点滅します。



「△」ボタンを押してプリセットグループを選択します。



「SET」ボタンを押してグループ(3)を確定します。



「△」ボタンを押してチャンネルを選択します



「SET」ボタンを押してチャンネル(28)を確定します。

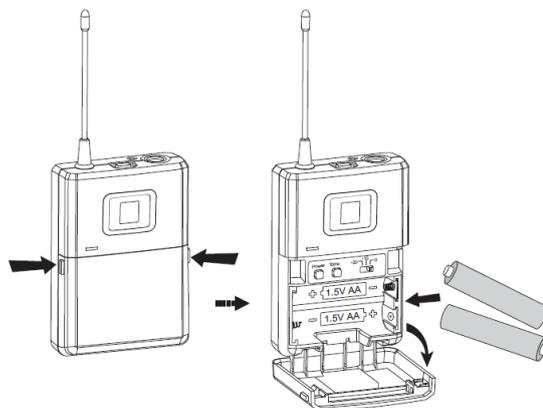


※選択したプリセットグループのチャンネルに外部干渉があった場合、次のプリセットグループを選択してください。4つのプリセットグループ全てが使用できない場合、オートスキャンモード、またはマニュアルモードを実行してください。

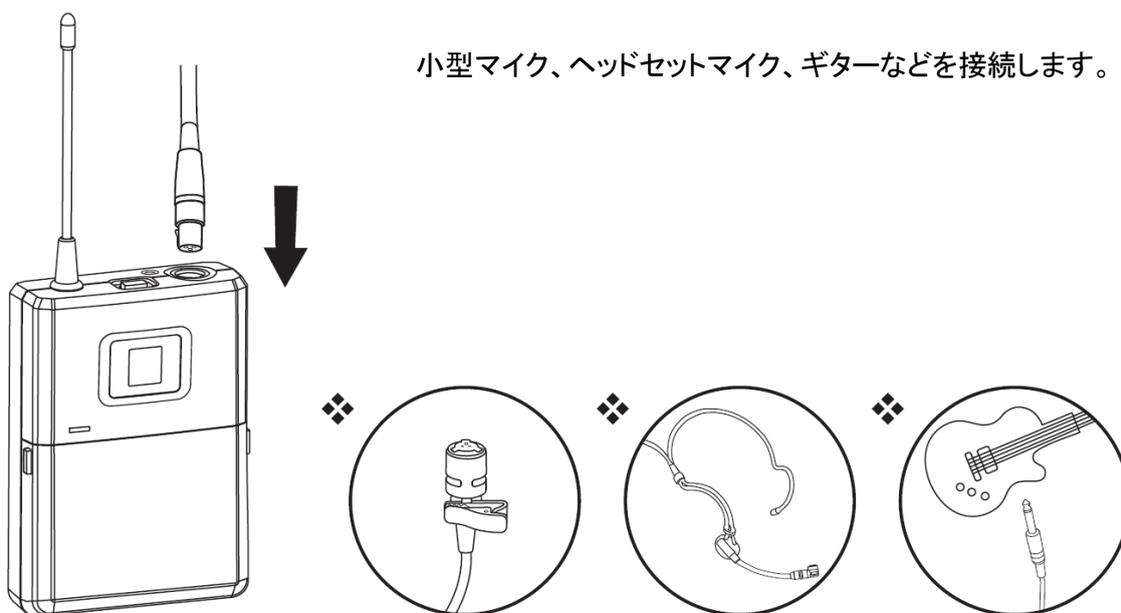
ハンドヘルド・マイク/ボディパック・トランスミッターのセットアップ

ボディパック・トランスミッター

バッテリーカバーを開けて、バッテリーを装着します。

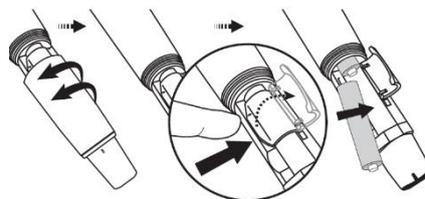


小型マイク、ヘッドセットマイク、ギターなどを接続します。



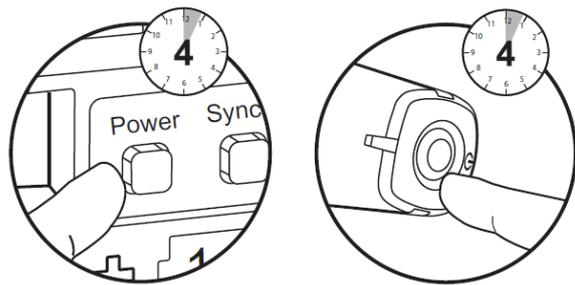
ハンドヘルド・マイク

バッテリーカバーを回して開けてから、バッテリーを装着します。



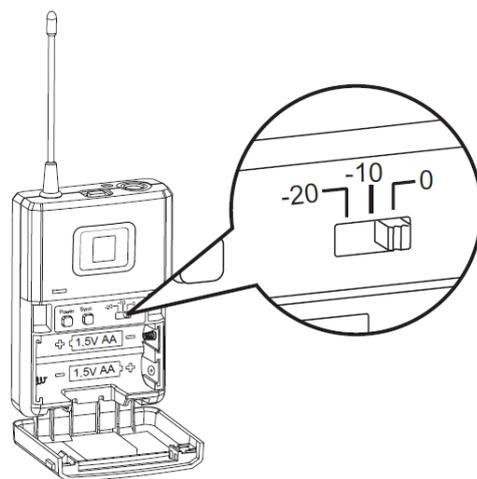
操作手順

ハンドヘルド・マイクボディパック・トランスミッターの電源ボタンを4秒以上長押しして電源を入れます。



接続する機材に合わせて入力レベルを選択します。

- 0dB: トーク (初期設定)
- 10dB: トーク (大きめの声)
- 20dB: ギターなど



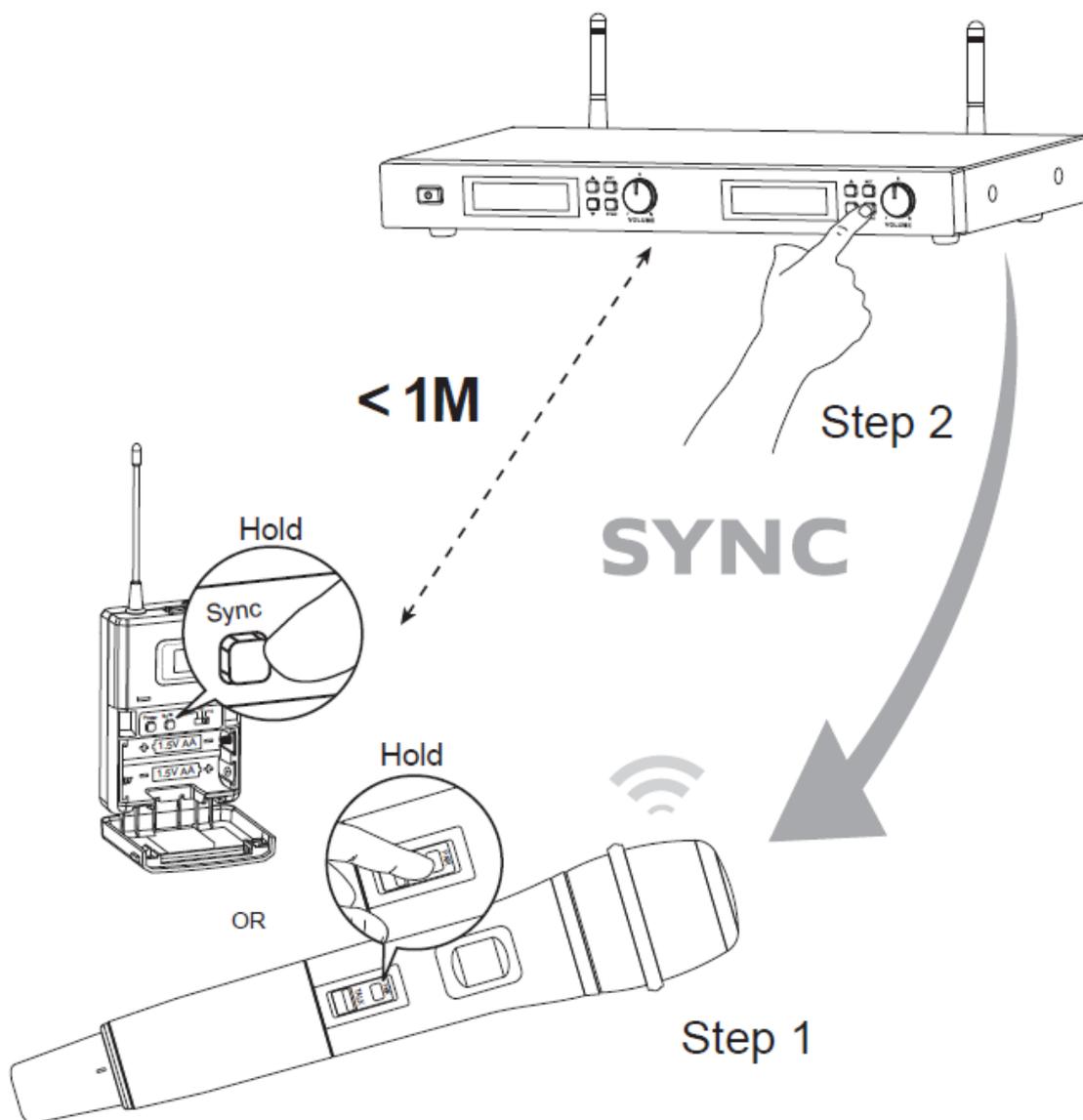
※本機を長い間使用しない場合、電源をOFFにしてください。

トランスミッターとレシーバーの同期

リモートチャンネルによる自動周波数同期

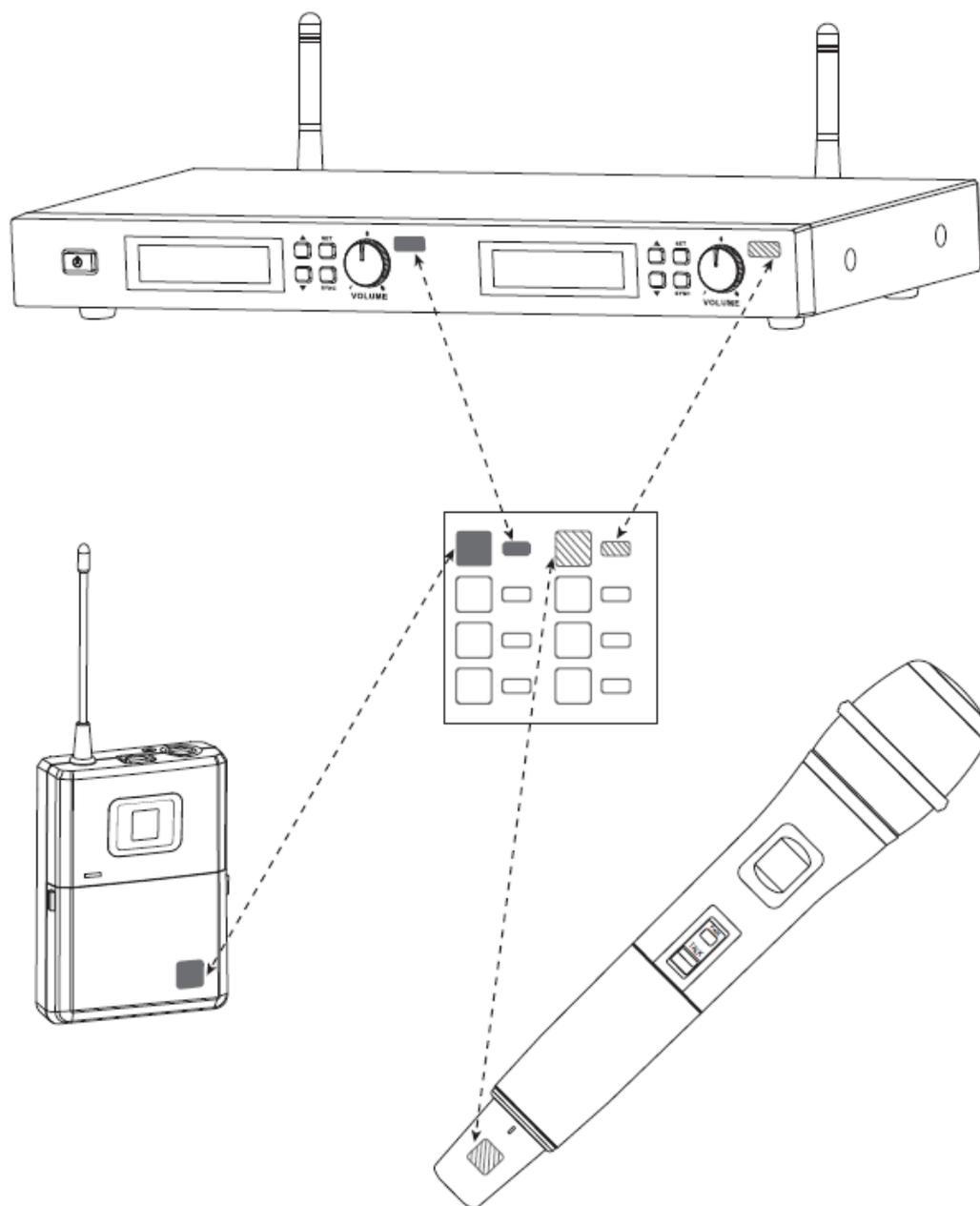
1. トランスミッターとレシーバーの電源をONにします。
2. トランスミッターの「SYNC」ボタンを長押しします。ディスプレイのSYNCが点滅します。
3. レシーバーの「SYNC」ボタンを押すと、トランスミッターはレシーバーと同じチャンネルを自動的に選択します。

※ SYNCを押してチャンネル設定するとき、レシーバーとトランスミッターの距離は1m以内に近づけて行ってください。



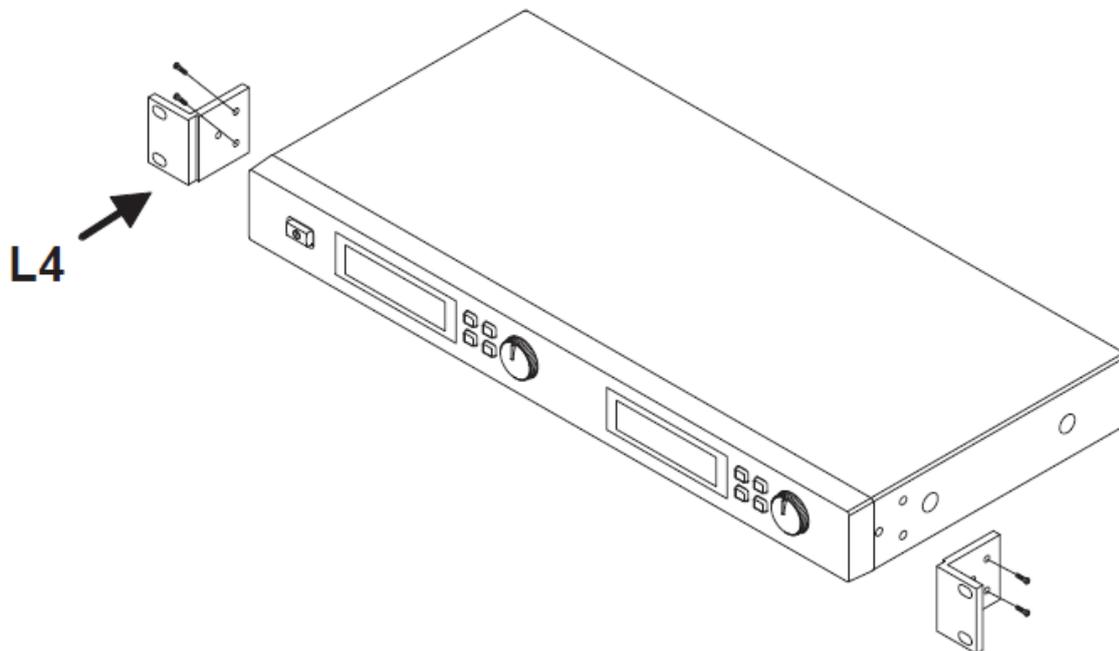
カラーラベルによるペアリング

トランスミッターとレシーバーのペアリングはカラーラベルによっても確認できます。

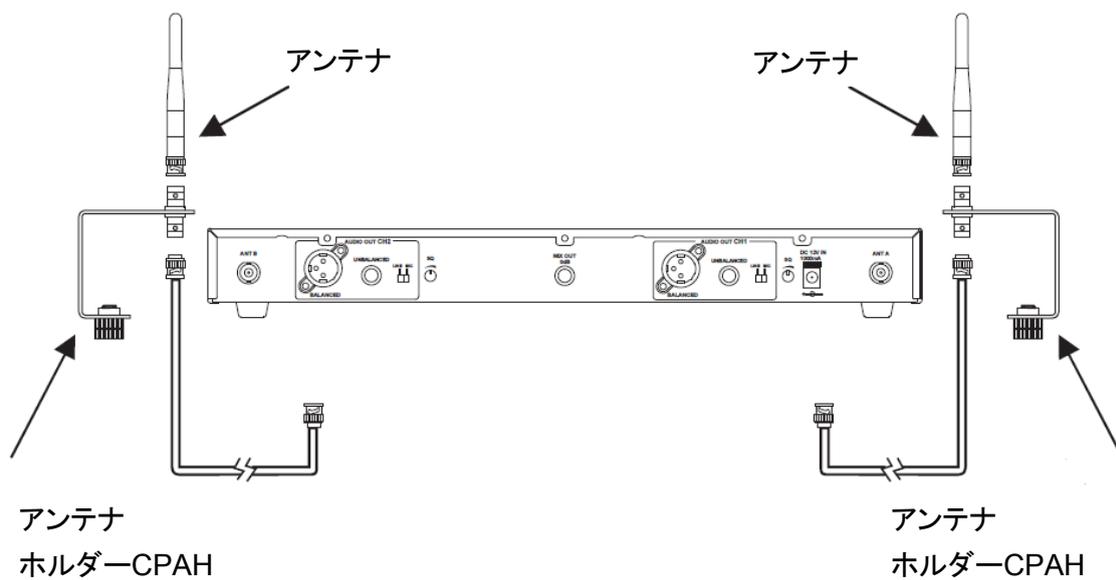


設置

レシーバーを19インチラックに取り付けるときは、L型金具を使用します。



受信状態を改善するためにUHFアンテナを高い所に設置する場合、アンテナホルダーを使用してください。



故障かなと思ったら

音が出ない	マイクとレシーバーの電源が入っているか確認してください
	トランスミッターとレシーバーが周波数同期が取れているか確認してください
	レシーバー出力がミキサーやアンプに接続されているか確認してください
	トランスミッターとレシーバーの距離が離れすぎているか、SQの設定が高すぎないか確認してください
	レシーバーが金属に近すぎないか、トランスミッターとレシーバーの間に障害物がないか確認してください
音が干渉する	アンテナの位置を確認してください
	2つ以上のマイクを同時に使用している場合、選択した周波数が干渉していないか確認してください
	他のマイク、TV、ラジオなどからの干渉がないか確認してください
歪みが起こる	レシーバーのボリュームレベルが高すぎないか確認してください
	他のワイヤレス・マイク、TV、ラジオなどから干渉が起きていないか確認してください

